

第16回地域連携手帳委員会議事録

日時 平成26年10月16日 (木) 13時30分～
会場 新津医療センター病院 大会議室

1 地域連携手帳の現状と問題点

- ・連携手帳を広めるために
現場での声掛けが重要
活用されているのか・・医科、歯科、薬剤師会でのPRも必要
ヘルパー事業所からも参加してもらう必要があるのでは。
3包括の情報交換会でヘルパー事業所の代表者を決めてもらい、この会議に参加してもらう方向で検討する。
- ・訪問看護は記載することとなっていて、コミュニケーション欄活用も進んでいる。
- ・薬局はくすり手帳中心なので活用までは至っていないのが現状。

2 連携手帳の発展的利用

- ・むすびあい手帳
シート7、生活や支援の工夫
むすびあい手帳の様式を当面は追加で取り入れることとし、様子を見る。
時期については、むすびあい手帳シート7が確定したところで開始。概ね12月頃か。

3 新潟市むすびあい手帳の運用状況について

- 6月以降説明会を実施。シート8変更
江南区でモデル事業として実施。同意をとるのに30分以上要している。
普及していないことで断られるケースもある。時間が必要。
配布対象は幅広く、予防の必要な方などにも配布
2年間くらいは秋葉区の手帳と2本立てでいく。
今後いかに整合性をとるかが課題。

4 新潟市医師会在宅医療連携IT連携の状況

- ・電子カルテの身軽なものというイメージ。
パス、連携を使用し当地の連携手帳にできるだけ近づけたいとしている。
スマホでも使える機能があり、普及の可能性が高く流れとしてはIT化の方向に進んでいる。

5 第12回新津地域医療福祉連携協議会の開催

- ・11月14日(金)キャトルセゾンで開催
テーマは認知症と地域連携

6 その他

次回 12月18日(木) 13時30分

会場 新津医療センター病院 会議室にて開催

以上

第16回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

平成26年10月16日

1. 連携手帳の現状と問題点

連携手帳を広めるために

2. 連携手帳の発展的利用

「むすびあい手帳」

シート7；生活や支援の工夫→どうするか？

3. 新潟市認知症連携手帳：「むすびあい手帳」の運用状況について

4. 新潟市医師会在宅医療IT連携の状況

5. 第12回新津地域医療福祉連携協議会；平成26年11月14日（金）

テーマ：認知症と地域連携

6. その他

次回手帳委員会；平成26年12月18日（木）午後1時30分から
新津医療センター病院大会議室

【シート7】

皆で知恵を出しあいたい生活や支援の工夫

ご本人がより快適に穏やかに暮らしていけるように、「うまくいった対応」「相談したいこと」などを関係者で知恵を出しあいましょう。

年月日	内 容	サイン
<例>	最近、紙パンツを脱いでしまうことが多いです。パンツは、すでに尿で汚れています。	妻
	デイサービス利用時、時間を決めトイレにお誘いするとトイレにて排尿されこちらで紙パンツを脱ぐことはなくなりました。うろうそわそわすることがありましたらトイレへお誘いしてみてください。	TセンターA

【シート8】

かかりつけ医・専門医療機関の経過記録

発症時期：平成 年 月 優

年月日	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月
診断			
長谷川式スケール	/30点	/30点	/30点
MMSE	/30点	/30点	/30点
頭部CT	<input type="checkbox"/> 虚血性変化 <input type="checkbox"/> 海馬萎縮 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 虚血性変化 <input type="checkbox"/> 海馬萎縮 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 虚血性変化 <input type="checkbox"/> 海馬萎縮 <input type="checkbox"/> その他
頭部MRI	<input type="checkbox"/> 虚血性変化	<input type="checkbox"/> 虚血性変化	<input type="checkbox"/> 虚血性変化
萎縮部位	<input type="checkbox"/> 海馬 <input type="checkbox"/> 側頭葉 <input type="checkbox"/> 前頭葉 <input type="checkbox"/> 頭頂葉 <input type="checkbox"/> 後頭葉	<input type="checkbox"/> 海馬 <input type="checkbox"/> 側頭葉 <input type="checkbox"/> 前頭葉 <input type="checkbox"/> 頭頂葉 <input type="checkbox"/> 後頭葉	<input type="checkbox"/> 海馬 <input type="checkbox"/> 側頭葉 <input type="checkbox"/> 前頭葉 <input type="checkbox"/> 頭頂葉 <input type="checkbox"/> 後頭葉
VSRAD (z-score)	Z-score :	Z-score :	Z-score :
その他 検査所見 (SPECT, MIBG心筋 シンチ等)			
治療内容 等			
記載者			



Net4Uご説明資料

株式会社ストローハット
初版 2014年9月30日

音薦介、音意園、ちり育共歩時計の薦介や意園の音思ア医師の姓跡の内記世
。すすSNSでスルへは頭回はうこううよくEモードニエミにコ向式歎



Copyrights©2010. Straw-Hat Corporation Inc. All right reserved.



弊社の特徴とNet4Uの概要

弊社の特徴

- ・地域医療・介護の連携に特化したシステム開発を行っているシステムインテグレーターであり、特に地域連携バス、在宅医療・介護連携におけるシステム導入の実績とノウハウを有しております。
- ・日本マイクロソフト社と医療分野における協業体制を構築しており、SharePoint及びOfficeテクノロジーに関する最新技術を有しております。

Net4Uの概要

- ・山形県鶴岡地区で10年間運用されている地域患者情報共有システム「Net4U」をベースとした、新しい医療・介護連携プラットフォームです。
- ・お客様の御要望に応じて、お客様の地域内にサーバーを設置することも、弊社契約のデータセンターのクラウド環境を利用することも可能です。
- ・特に「在宅医療」「医療と介護の連携」に特化しており、単に病院の診療情報を開示するシステムではなく、医療者と介護者をつなぎ、コミュニケーションを促進させるための「ソーシャルネットワークサービス」としてご利用頂けます。
- ・アドオン機能「Net4U PATH」により、Excelパスの共有、リアルタイム集計が可能な地域連携バスの共有ツールとしても利用することが可能です。
- ・アドオン機能「Net4U NOTE」により、患者や家族が参加する高齢者見守りバスシステムとして利用頂けます。高齢者に限らず、市民の健康管理ツール及び予防支援ツールとしても活用頂けます。



Net4U製品紹介

Net4U PATH

- 複数疾患に対応した地域連携バスシステムです。WEBフォーム方式やExcel添付方式で、バスを共有することができます。
- バスの予定や実施の管理、バスデータの集計機能を持ちます。



Net4U CONNECT

- 標準的なデータ交換様式による外部ストレージからのデータ参照が可能となります。
- Net4UをASP型とレジストリ・リポジトリ型のハイブリッドシステムとして利用できます。

Net4U RENKEI

- 地域連携室向けの機能を集約した、外部拡張システムです。
- 紹介状・逆紹介状の管理、紹介データの集計、診療予約・検査予約が可能です。

Net4U CORE

- Net4U 製品群の中核となるASP型のEHRエンジンです。
- 施設と患者の紐付けや名寄せ機能を持ち、所見、処方、検査結果、文書テンプレート等の情報を地域で共有することができます。

Net4U NOTE

- 患者・家族が参加した健康情報・介護情報の記録ができる、Net4Uの外部拡張PHRエンジンです。
- COREとのシステム連携により、検査結果や処方の参照ができ、連絡ノートとしても利用できます。

地域内の複数の施設で患者の医療や介護の情報を共有でき、医療者、介護者が双方にコミュニケーションをとることが可能なヘルスケアSNSです。

*稼働中のシステムはCORE、NOTE、PATHです。CONNECT、RENKEIは平成26年度リリースの予定です。

Copyrights©2010, Straw-Hat Corporation Inc. All right reserved.



Net4U開発コンセプト

情報共有を目的とする電子カルテではなく、あくまでコミュニケーションツールである。

コミュニケーション

コミュニケーションの成立には、情報の共有だけでは不十分で、相互理解や意志疎通を可能とするための、コンテクスト（文脈・物語）の共有が不可欠。

コンテクスト

動的コンテンツの交換、静的コンテンツに関する共通理解、人と人の関係性、患者との関わり方、地域的要件、タイミング等、様々な要素の上に成り立つ「文脈」。

動的コンテンツ「診療情報提供書」「訪問看護指示書」「患者に関する連絡」…
相手がある患者情報、及び伝達事項。交換を目的とした情報。

静的コンテンツ「所見」「処方」「処置」「診断名」「放射線画像」…

情報同士の関連性やベクトルを持たない情報、すなわち「Record」（=記録）と言いうことができる。

↑
介護システム
由来型SNS

↑
Net4U

↓
電子カルテ
相互参照型
EHR

資料 2

新潟市医師会在宅医療IT連携事業 Net4U導入時における検討事項

NO	区分	検討事項	検討内容	検討完了目標（案）
1	システム導入	想定する利用施設・職種	利用する施設・職種の範囲の検討（段階的な拡大等も含む）	平成26年10～12月
2		導入施設	導入施設、施設毎のユーザー数（平成27年度の導入施設もある程度想定する）	平成26年10～12月
3		共有する情報	具体的にどのような情報を共有していくのかについての検討	平成26年10～12月
4		ロードマップ	今後5年程度を目指とした在宅医療介護におけるITシステム在り方、展望等	平成26年10～12月
5	運用検討	事務局の設置	システムの運営を具体的に行う事務局の設置場所（事業期間中、事業終了後）	平成26年10～12月
6		システム運用体制	運用管理体制、安全管理体制、災害等の非常時の体制 【成果物】運用管理規定、業者委託契約書	平成26年10～12月
7		システム運用手順	施設参加申請手順、患者共有開始手順等 【成果物】運用手順書、施設利用契約書、施設参加取り止め申請書	平成26年10～12月
8		同意取得方針	同意取得方法の検討、取得する施設（職種）の限定、同意書の内容 【成果物】情報共有同意書、情報共有同意撤回書	平成26年10～12月
9		PATH、NOTEの利用	PATH、NOTEの利用開始タイミングの検討 PATHで共有する地域連携パスの対象疾患	平成26年10～12月
10		費用負担方針	事業終了後の費用負担方針（サービス利用料、保守サポート料、タブレット関連費用）	平成27年1月
11	事業評価	利用アンケート	アンケートの実施／非実施（実施の場合におけるアンケート実施手順及びアンケート内容） 【成果物】アンケート結果資料（事業実施報告書）	平成27年1月
12		報告書の作成	事業報告書の作成方針・作成担当 【成果物】事業実施報告書	平成27年1月
13	システム改修	連携文書テンプレート	システムで利用する共通文書の種類、フォーマットの検討	平成27年1～3月
14		システム点検・見直し	平成26年度における利用を受けたシステムの点検と見直しの検討	平成27年4～8月
15				

平成 26 年 10 月 16 日
新潟市高齢者支援課

むすびあい手帳の運用開始に向けて

■最近の経緯と今後の予定

9月3日	第6回 新潟市認知症地域連携共有ツール作成会議の開催 (シート8の修正、発行者の記載)
中旬～下旬	介護保険サービス事業所向けむすびあい手帳説明会の開催 (3会場12回 506名の関係者が出席)
10月上旬	むすびあい手帳の協力依頼文を三師会各事務局へ提出 (医師会・歯科医師会・薬剤師会の各会員向けメール便に同封)
10月下旬	地域包括支援センターと居宅介護支援事業所へメール連絡 (事務の流れ、スケジュール等) 市ホームページでむすびあい手帳の開始案内
11月	市報でむすびあい手帳の開始案内 地域包括支援センターへむすびあい手帳を配達 (居宅介護支援事業所は地域包括支援センター経由で受理)

【シート8】

かかりつけ医・専門医療機関の経過記録

発症時期:平成 年 月 曜

年月日	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月
診断			
長谷川式スケール	/30点	/30点	/30点
MMSE	/30点	/30点	/30点
頭部CT	<input type="checkbox"/> 虚血性変化 <input type="checkbox"/> 海馬萎縮 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 虚血性変化 <input type="checkbox"/> 海馬萎縮 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 虚血性変化 <input type="checkbox"/> 海馬萎縮 <input type="checkbox"/> その他
頭部MRI	<input type="checkbox"/> 虚血性変化	<input type="checkbox"/> 虚血性変化	<input type="checkbox"/> 虚血性変化
萎縮部位	<input type="checkbox"/> 海馬 <input type="checkbox"/> 側頭葉 <input type="checkbox"/> 前頭葉 <input type="checkbox"/> 頭頂葉 <input type="checkbox"/> 後頭葉	<input type="checkbox"/> 海馬 <input type="checkbox"/> 側頭葉 <input type="checkbox"/> 前頭葉 <input type="checkbox"/> 頭頂葉 <input type="checkbox"/> 後頭葉	<input type="checkbox"/> 海馬 <input type="checkbox"/> 側頭葉 <input type="checkbox"/> 前頭葉 <input type="checkbox"/> 頭頂葉 <input type="checkbox"/> 後頭葉
VSRAD (z-score)	Z-score :	Z-score :	Z-score :
その他 検査所見 (SPECT, MIBG心筋 シンチ等)			
治療内容 等			
記載者			

【シート8】

かかりつけ医・専門医療機関の経過記録

発症時期:平成 年 月 曜

年月日	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月
診断			
長谷川式スケール	/30点	/30点	/30点
MMSE	/30点	/30点	/30点
頭部CT・ MRI	CT・MRI (所見)	CT・MRI (所見)	CT・MRI (所見)
その他 検査所見 (SPECT, シンチ等)			
血液検査・ 胸部X線・ 心電図 等			
治療内容 等			
記載者			

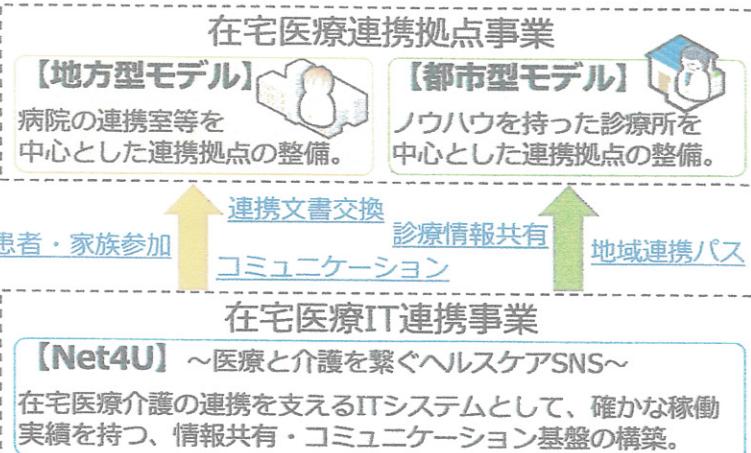


新潟市医師会在宅医療IT連携事業におけるITシステム構築委

①業務の実施方針

人口81万人都市である新潟市には複数の地域性が混在する。そのため在宅医療の推進における統一的な取り組みが困難であり、新潟市では「**都市型**」「**地方型**」の**2つのモデル**に分けて在宅医療連携拠点事業を整備していくことになっている。

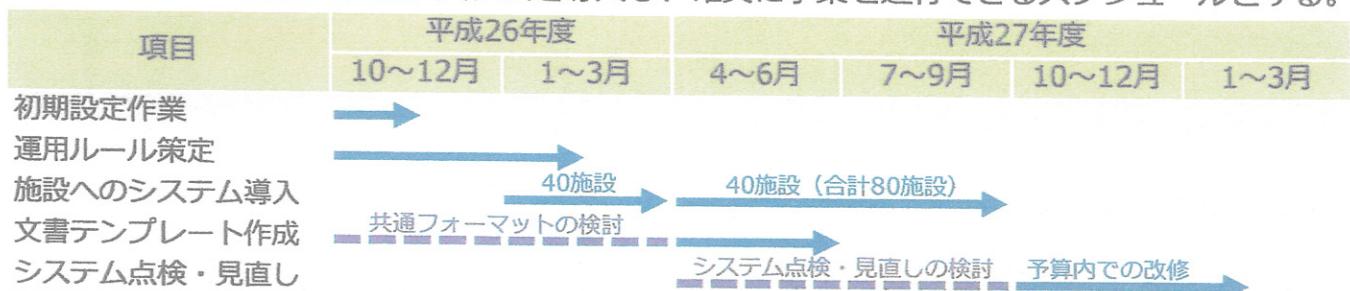
医師会単位での確かな稼働実績があり、汎用性と拡張性が高い「Net4U」を導入することで、**どちらのモデルでも柔軟に活用可能なITシステム**を構築することを基本方針として、本業務を実施する。



②業務の実施手法

【事業の実施方針と導入スケジュール】

事業年度ごとに段階的にITシステムを導入し、確実に事業を遂行できるスケジュールとする。



※システムの運用を開始する前に運用ルールを策定する必要があり、平成26年9～10月からの導入開始は現実的には難しい。そのためシステムの導入開始（＝運用開始）を**平成27年1月**と想定する。

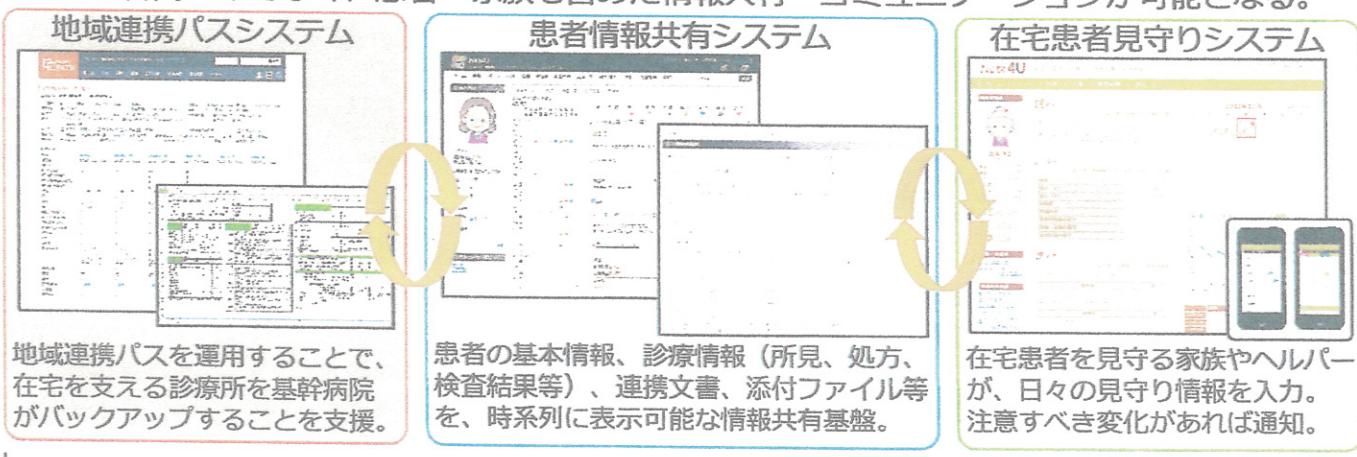
【運用ルールの策定】

患者情報をITシステムで共有するには、**運用管理規定等の文書を作成**し、運用管理体制、安全管理対策、システム利用手順、同意取得に関する考え方等を明確にしておく必要がある。各省庁の**ガイドラインに準拠**するためには、時間をかけて取り組むべき必要な作業である。

本提案では、運用ルールの策定支援等の業務に必要十分な作業時間と想定しており、全国で培ったノウハウを提供することで、**円滑で持続性のあるITシステム運用体制の構築**を支援する。

【システムの構成・機能・特徴】

在宅医療の連携を支える3つのITシステムを利用シーンに応じて活用することで、医療従事者、介護従事者間だけでなく、患者・家族も含めた情報共有・コミュニケーションが可能となる。



インターネットVPNによるセキュアアクセス

インターネット暗号化通信

- ほとんどのWEBブラウザで動作。**わかりやすく親しみやすい画面デザイン**設計。
- タブレットやアプリを使うことで、**いつでもどこでも患者情報を入力・閲覧**することが可能。



③業務実施体制

それぞれに得意分野を持ち、豊富な実績のある2社が協業して本業務を実施する。

ストローハット

Net4U利用サービスの提供
保守サポートサービスの提供

導入支援サービスの提供
運用ルール策定の支援

文書テンプレート等のカスタマイズの実施

BSNアイネット

データセンター利用サービスの提供
セキュアネットワーク接続サービスの提供

タブレット端末の導入
タブレット通信サービスの提供

保守サポートサービスの提供

全国各地における医療介護連携システムの導入実績をベースとした、**システムの利用サービスと運用支援サービス**を提供する。

地元新潟における医療・官公庁向けシステムの豊富な導入実績をベースとした、安心安全な**ネットワーク環境**と**保守サポート体制**を提供する。

④同種・類似事業実績

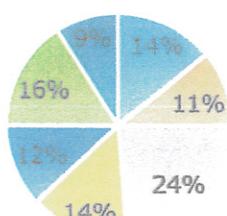
全国各地にて、在宅医療、医療介護連携、地域連携バス等の在宅医療ITシステムに関する事業を多数受託しており、**使われ続けるITシステムを構築し、運用するノウハウを蓄積**している。

事業実施年度	事業実施地域	事業名
平成21年度	富山県黒部市等	在宅患者情報共有検討モデル事業
平成21年度	山形県鶴岡市	鶴岡地区医療・介護連携推進事業（総務省地域ICT利活用推進交付金）
平成23-26年度	香川県全域	医療介護地域連携クリティカルパス整備事業
平成23-26年度	京都府全域	地域連携バスシステム導入事業
平成23-24年度	山形県鶴岡市	在宅医療連携拠点事業（情報共有システム構築再委託）
平成24年度	富山県上市町等	在宅医療連携拠点事業（情報共有システム構築再委託）
平成25年度	東京都中野区	中野区ICT・コンテンツ活用産業振興促進補助事業
平成26年度	宮崎県日南市	在宅医療・介護ネットワーク構築モデル事業

⑤経費見積書の積算

初期設定費 1,240,000円 (14%)	運用支援費 1,030,000円 (11%)	施設導入作業費 2,160,000円 (24%)	タブレット端末 1,200,000円 (14%)	システム利用料 1,060,000円 (12%)	保守サポート料 1,470,000円 (16%)	カスタマイズ費 810,000円 (9%)
------------------------------	------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

御提案金額合計：8,970,000円（概算）



- 事業年度ごとにそれぞれ40施設、**合計80施設**への段階的な導入を行う。
- タブレット端末は、往診医、訪問看護師の利用を想定して**20台導入**とする。
費用には**事業期間内の通信費も含む**。（平成26年10月から平成28年3月まで）
- 平成27年度に予定しているシステムの見直しに応じた改修作業（文書テンプレート作成を含む）は、**カスタマイズ費の予算範囲内で実施**する。

⑥平成28年度以降の事業の継続性

【システムの拡張性】

- 文書テンプレートや地域連携バスシートを、**容易に追加することが可能なシステム設計**となっている。
- 「Net4U」は、利用地域からの要望をベースとした基本システムのバージョンアップを、数か月毎に実施している。当該地区で出された要望についても「Net4U」全体に反映すべき機能については、**基本システムのバージョンアップの範囲内で無償対応**となる場合もある。

【システムの相互運用性】

- 「Net4U」では、検査会社からの**検査結果の受信**及び**ID-Link**や**ORCA**とのデータ連携が可能であり、既存システムとの連携について十分に考慮されたシステムであると言える。
- SS-MIX普及コンソーシアムに所属しており、**厚生労働省推奨の標準的な様式**でのシステム連携を実現することができる。
- 地元新潟での豊富な導入実績があり、スムーズな**システムベンダーとの調整が可能**である。